祝 卒業証書授与式

３月１日：普通科140名　総合ビジネス科43名　看護科78名

常に前進、前向きの姿勢

事務次長　橋本孝一

二百六十一名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。多感な日々を過ごしたこの学び舎から、いよいよ実社会への旅立ちです。ご家族の皆様のお悦びも、一入のことと、心からお慶び申し上げます。

卒業生の皆さんの三年間を語る上で、「新型コロナウイルス感染症」を抜きには語れないでしょう。それは、皆さんから尊い青春を奪うものでした。入学の時は一斉休校中で、入学式は縮小して五月に延期、その後も学級閉鎖・短縮授業・年間行事の中止縮小・クラブ活動の制約・寮の閉鎖等、様々な困難が伴うものでありました。令和二年の流行語大賞は「三密」（密閉・密集・密接）、時代を象徴していました。その様な中、私達教職員は、手の施しようがないことへのやるせなさと、申し訳ない気持ちで一杯でした。それでも皆さんは様々な制約の下、個々の目標に向かい、その時に出来ることを前向きに捉え、困難を克服し本日を迎えられたこと、本当に立派だと思います。自信を持って頂きたいと思います。

ところで私が社会に出て間もない頃です。内部広報誌の中に新人を紹介する欄があり、私のエピソードが載ったことがあります（そのことをすっかり忘れており、最近ある方に当時の広報誌を見せて頂く機会があり思い出した次第です）。その中には、「常に前進、前向きの姿勢」という言葉をあげ、今後の自分の成長を誓う若い自分がいました。当時の心境を思い浮かべると、いろんな迷いを抱えていた頃だったと記憶しています。私自身、改めて若かりし頃の自分に教えられた気がしました。このことを皆さんの頭の片隅にでも置いて頂き、何かの時にふと思い出して頂ければ幸いです。皆さんの今後の未来が輝かしいものになることを願っています。

本学は今年十月一日に百二十周年を迎えます。キャッチフレーズである「百二十年の誇り　つなぐ未来へ」の通り、更なる発展を果たしていくために、良き伝統を未来に向かってしっかりつないでゆきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様には三年間にわたり本学教育活動のため多大なるご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。新たなステージに挑み続ける学園に、今後ともご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

卒業記念品

一、簡易テント一式
一、体育館フロアシート一式
一、体育館スクリーン一式
一、看護学科タブレット用参考書

祝辞

後援会会長　安藤真理子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、校長先生をはじめとして、子ども達を今まで、教え導いてくださった先生方に、心からお礼を申し上げます。無事に旅立ちの日を迎えられましたのも、ひとえに先生方のおかげでございます。

「光陰矢のごとし」と言いますが、まさにこの三年間、保護者である私たちには、あっという間の三年間でした。けれども、熊本中央高校の桜の門をくぐった子ども達にとっては、人生の中で一番大きく成長できた三年間だったように思います。コロナ禍の中、行事も思うように開催できず、子ども達も先生方も、悔しい思いをされたこともあったと思います。しかし、少しでも子ども達の思い出を作り、高校生活を守ろうと考えてくださって、学年単位での体育祭や、レクリエーションを実施してくださった先生方の思いやりに心から感謝いたします。行事が行われるたびに、帰ってきた子どもが、楽しそうな笑顔で思い出話をしてくれたことを、これからも忘れることはないでしょう。

さて、卒業生のみなさん。みなさんは、四月から、それぞれ新しい世界へと巣立ち、羽ばたいて行きます。みなさんが三年間過ごした熊本中央高校ともいよいよお別れです。友人たちと過ごしたこの三年間、楽しかった思い出もたくさんあるでしょう。先生に叱られたことも、友達とけんかをしたこともあったでしょう。高校生活三年間の思い出と友情は永遠に続きます。そして熊本中央高校で学んだことは、これからの人生に大いに役立つはずです。生きていることを実感し困難に立ち向かって、たくましく生き抜いてほしいと願います。

私の好きな言葉に、「思いは、力になる」というのがあります。「思い」とはこうなりたいと、いつも思っていることです。いつもいつも思っていると、やがてそれが「力」となって、実現できるということです。努力することの大切さや、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、前を向いて歩いてください。みなさんのさらなる活躍を、保護者一同願っています。

最後になりましたが、熊本中央高校のますますのご発展と、校長先生はじめ、先生方のご健康を心よりお祈りいたしまして、私からの祝辞とさせていただきます。

同窓会入会式

2月28日に、同窓会入会式が行われ、令和4年度卒業生261名が同窓会に入会されました。

給費式

二月八日に後援会給費式が行われました。本年度は四名の生徒が給費生として選ばれ、当日は後援会会長より給費金が授与されました。

学校安心メール協賛御礼

今年度は、左記の事業所に学校安心メールの協賛をいただきました。生徒・保護者への連絡に大変役立っており感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

協賛事業所
ゆめタウンはません様
熊本日日新聞社　京町・坪井販売センター様

第３回 竹下英理事長奨学金

２月20日に竹下理事長奨学金給費式が行われました。今年度は専攻科生含め10名の生徒が選ばれ、竹下理事長より奨学金が授与されました。

12月16日
テーブルマナー

希望

第　130　号

発行所
〒860-8558 熊本市中央区内坪井町4番8号
熊本中央高等学校
後援会（保護者会）広報委員会
TEL 096(354)2333
FAX 096(356)6279
印刷　かもめ印刷 279-3440

書道部

陸上部男子

軽音楽部

柔道部

吹奏楽部

ソフトテニス部

予餞会

1月26日

ダンス部

バドミントン部

3年担任

陸上部女子

12月15日
ダンス発表会

1月25日
クラスマッチ

編集後記

今年度は少しずつ例年の行事が開催されましたが、まだ保護者の皆様が観覧できる行事は少なかったと思います。広報委員会では少しでも学校行事の様子をお伝えできるよう撮影に出向き、広報紙に掲載して参りました。そこで私達が出会ったのは子ども達の弾けるような笑顔と何事にも懸命に取り組む姿、そして先生方の温かい支えでした。後援会広報紙『希望』がご家庭で親子の楽しい会話のきっかけになってくれたら幸いです。

最後に、私事ですが、広報委員長という大役を仰せつかり不安でしたが、中村先生をはじめ、広報委員の皆様に力強いサポートを頂き一年間楽しく活動することができました。心より感謝申し上げます。

来年度も広報委員会の活動にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（広報委員長　森　信子）